



二〇二四年度学士論文題目

明代後期の福建・江西交界における山寇の活動  
劉邦集団における客について―戦国期の食客、客卿と比較して―

今岡雄太  
尾西真衣子

二〇二四年度修士論文題目

ウスベキスタンへのジャガイモの伝播と農村社会の変貌  
南朝後期における「蚕」について

杉浦睦美  
横井直哉

二〇二五年度名古屋大学東洋史研究会大会報告

西晋代における平原国・楽陵国の所屬州について  
南朝貴族と軍權―雍州刺史王粲の反乱を中心として―

尾関圭信  
榎本あゆち

編集後記

『名古屋大学東洋史研究報告』四十号をお届けする。本号には論説三篇、調査報告一篇を掲載することができた。玉稿をお寄せいただいた著者の方々に感謝の意を表したい。また、論説の査読をご担当いただいた皆様にも厚く御礼申し上げます。

なお本誌は名古屋大学を誌名に冠しているが、本号も38・39号と同様に編集事務局を愛知江南短期大学社会史研究室に置き、会計事務の一部分のみ名古屋大学東洋史学研究室が担当したことを付記しておく。

(柴田)